

課外活動の意義

大学教育は、専門的学術の教授と知性の練磨をその中心的機能とし、豊かな人間形成を図ることを目的としています。

学生生活の中で課外活動は、正課の教育課程と異なり、あくまでも学生が自主的に行う集団活動です。それは大学という共同社会においてグループ活動による実践的な経験を通じ、社会生活上必要な自立性・協調性を体得することはもちろんのこと、卒業後社会のリーダーとしての指導力及び創造力などを養う場として重要視されているからです。



近年、大学の教育の著しい普及と学生意識の多様化などによって、学生と教職員との人間的な触れ合いの場がますます強く求められてきています。

このような観点から、本学は学生団体(サークル)の活動を課外活動の一環としてとらえ助育しています。

学生の皆さんがその意義を十分に理解し、より豊かな、充実した学生生活を送るよう希望します。

ただし、学生団体(サークル)の活動にのみ打ち込んで、本来の目的である学業がおろそかにならないよう自覚し、責任ある行動を心掛けてください。



自分の趣味・能力、あるいは勉学との関係を考えて学生団体(サークル)を選び、教室外での友人・先輩・後輩を通して、学生生活の楽しさを味わいながら、豊富な経験と高い教養を身に付けることを大学は期待しています。

学生団体(サークル)は、船橋校舎では習志野サークル連合会、駿河台校舎では部・サークル連絡協議会に加盟し、大学側と話し合いの機会を持つとともに、自主的な運営により成果を上げています。

なお、学生団体(サークル)に入部するときには十分内容を検討し、学生団体(サークル)の代表者に直接会って状況を聞くことも大切です。